



現役の活動状況

第70回高校春季総合体育大会、兼、第67回インターハイ予選

2015年4月30日～6月4日

男子 参加 66 チーム

8代目顧問・堀川 美子 (27期生)

[北ブロック大会・リーグ戦]

- 寝屋川 13 - 21 都島工科
- 寝屋川 31 - 5 茨木工科
(リーグ戦・敗退)

3年生(69期生)11名と、2年生(70期生)3名の14名で、冬の練習を乗り越え、春休みには、いろんな学校と、練習試合を、組ませてもらいました。

その感触は、強いチームにも、対等に戦えるのに、楽勝できるのではと、思えるチームに、何故か、てこずっているというものでした。

新学期を迎え、新入生の勧誘を、頑張った結果、9名の新入部員と、2名のマネージャーが、クラブ体験後に、入部してきました。

やる気も十分感じられ、2年生は3名と、少ないけれど、また、クラブとして、立て直していけるなど、ホッと安心しました。

抽選会では、練習試合をしたことがない、都島工科と茨木工科と決定し、「よし!、この一週間で、試合に向けての練習が、できるな!」と、思いました。

ところが、顧問の私が、インフルエンザに罹ってしまい、1週間、全く、練習を見れないまま、公式戦突入と、なってしまいました。

都島工は、当日、ダブル目の試合の、寝屋川戦でした。

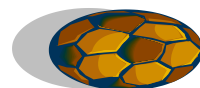
顧問も、部員も、何となく、不安なままで、始まった試合は、案の定、向こうの勢いに、呑まれてしまっていました。

速攻や、ポストプレイや、サイドシュートと、ノーマークシュートは、何本あったことか。

しかし、シュートを、ことごとくはずしてしまい、自分たちのリズムに、全く乗れず、前半 3-12 と、大差を開けられてしまいました。

「これが、自分たちがやってきた、ハンドボールなのか?」と、ハーフタイムのときに、部員に問いかけました。

負ける気が、しなかったのが、本音です。



後半は、みんな気持ちを持ち直し、頑張りましたが、相手チームも、力的には差がなく、前半の得点差を、縮めることはできず、負けてしまいました。

あれだけ、長い時間をかけて、練習に取り組んできたのに、呆気ないものです。

3年生にとっては、これで引退となりますが、自分たちの進路に向けて、是非がんばってほしいものです。

さあ、新チームで頑張ろうというところで、2年生3人が、辞めていきました。

3人では、1年生の面倒を見るのが、大変だからというのが、理由だそうです。

ちょっと、理解できません。

1年生はというと、「自分たちだけで、頑張ろう!」と、話し合ったようで、あっけらかんと、していました。

そして、驚くことに、他のクラブを辞めた生徒が、2名入部してきました。

現在、1年生部員が11名、素人ばかりで、頑張って、練習しています。

是非、卒業生の皆さん、練習を見てやってください。

私だけでは、身体が持ちません。(笑)

2年計画で、頑張りたいと思います。



女子 参加 42 チーム

8代目顧問・赤星 明

[北ブロック大会・リーグ戦]

- 寝屋川 19 - 8 北千里
- 寝屋川 11 - 9 千里
(トーナメント戦・進出)

[北ブロック大会・トーナメント戦]

- 1回戦 ○ 寝屋川 19 - 14 春日丘
- 準決勝 ○ 寝屋川 19 - 11 咲くやこの花
- 決勝 ● 寝屋川 11 - 13 茨木
(北ブロック大会2位・中央大会進出)

[中央大会・トーナメント戦]

- 1回戦 ○ 寝屋川 23 - 14 三国丘
- 準々決勝 ● 寝屋川 12 - 27 大商大堺
- 5~8位決定戦 ● 寝屋川 15 - 19 大谷
(近畿大会、出場ならず)

今年のこの学年(69期生)は、先輩(68期生)が、一昨年秋の新人戦兼全国選抜大会予選で、春日丘高校に取られたブロック大会シード権を、取り返すと言う、使命感がありました。

私が、寝屋川高校に赴任してから、中央大会に行くのは、ほぼ当たり前のように、なっていました。

だから、生徒も、私も、シード権を取り戻す気持ちは、強かったです。

マネージャーが、抽選で、第1シードの春日丘高校のゾーンを引いた時、私は心の中で、ガッツポーズを取りました。

理由は、2つありました。

先に書きましたが、1年半前に、シードを取られたのが、春日丘高校でした。

中学生の時に、JOCに選ばれた1年生(今年、3年生)に、やられた、苦い思いがありました。

その後、春日丘高校は、調子に乗り、昨年秋の新人戦で、ブロック大会の、優勝をしました。

しかし、寝屋川高校のほうが、初心者の分、伸びしろがあると、思っていました。

今の寝屋川高校は、春日丘高校に勝てる力があると、思っていました。

あと1つは、半年前に、大阪市NO1の中学生選手が、体験部活動に来てくれました(もちろん、くるまでは、知らなかったのですが)、1人だけ来たので、パスとシュート練習で、早く終わろうと思っていました。

その日3時から、寝屋川市民体育館で、大阪ジュニア(中学生で、大阪代表のクラブチーム)との、練習試合の予定を、していました。

しかし、シュートを見て、そのすごさに、驚きました。

思わず、「中学で、ハンドしてたんか?」と、聞きました。

寝屋川ハンドの60周年、70周年の冊子を渡し、OB・OG会もしっかり応援してくれているので、ぜひ寝屋川高校を、受験してくれ、と言いました。

次の週、両親が学校説明会に来てくださり、「先生、これがRED-STAR(赤い星)の、帽子ですね」と、話しかけてくださいました。

私は、この生徒に、私をよく知ってもらいたかったので、インターネットで、赤星退職をひけば、私の退職を祝ってくれている、画像が出てくるよ、と言いました。

両親と、一緒に見たらしく、退職の時に贈られた帽子(上海の、ミズノの工場長が、教え子で、赤いジャージや、トレーナーや、ベンチコートなどを、ダンボール2箱に、RED-STAR(赤い星)の刺繍を入れて、贈





ってくれていました。)を見て、声を掛けて下さいました。

父親が、「先生が、来年で再任用が終わるので、娘は不安がっていました。」と言われたので、「絶対、最後まで、ボランティアで見に来て、面倒見ます。」と言いました。

しかし、期待していたのですが、この生徒は、寝屋川高校には来ませんでした。

4月になってわかったのは、春日丘高校に、入部していました。

大会が始まって会った時、「寝屋川に来てほしかったけど、残念やった。春日丘で、がんばってください」と、声をかけました。

この生徒が、私に、気を使わせないようにと、思ったからです。

中央大会出場をかけた、北ブロック大会・トーナメント1回戦の、春日丘高校との試合は、前半1点負けで、折り返しました、しかし、後半、生徒たちの情念が勝り、5点差で勝ちました。

本当にうれしかったです。

ここで負ければ、ふだん私が言っている、素人でも、まじめにやれば、上手くなり、勝てるようになる、と言うことが、否定され、嘘になるからです。

中央大会は、1回戦で南ブロック3位の三国丘高校に勝ち、大阪ベスト4をかけて、この春、全国選抜大会でベスト16位の、大商大・堺との試合でした。

試合前に、相手の得点を、25点に抑えろ、10点取れと言いました。生徒達は、よくがんばったと、思います。

5~8位決定戦で、大谷高校に負け、また、近畿大会出場の夢は、閉ざされました。

生徒達は、泣いていましたが、その後は、満ち足りた顔を、するものもいました。

この大会中、多くのOB・OG、卒業生に、応援をいただき、ありがとうございました。

OB・OG会会長の寺西(20期)さんや、木村慶次(18期)さんから、多くの飲みものや、13期生の平井さんからは、選手を食べに連れて行ってもらい、ありがたかったです。

新チームは、2年生も少なく、秋の新人戦が不安ですが、来春になれば、今の1年生が、成長してくれていると思います。

私も、あと1年ですが、ブロック大会のシード権を守るように、頑張ります。

[現役の状況]

学年	男子	マネージャー	女子	マネージャー	合計
3年	11	0	11	2	24
2年	0	0	6	0	6
1年	11	2	13	1	27
合計	22	2	30	3	57



大阪大会方式

(1) 秋季大会

1. 8月上旬、大阪府下全参加校、シード制なしのオープントーナメント方式で行われます。

・2015年度 参加校 男子 66チーム
女子 43チーム

2. 春のインターハイ予選後、大部分のチームは、1~2年生の新チームでの参加となりますが、3年生の参加も、可能

3. 次の秋の新人大会の、中央大会のシード校、4チーム、南北各ブロック大会のシード校、4チーム、計12チームを選出の為、順位を決定します。

(2) 国体

1. 10月

2. 府県選抜チーム、近畿男女2チーム出場

(3) 新人大会、兼、全国選抜予選大会

1. 10~11月、1~2年生の新チームでの大会

・2016年度 参加校 男子 65チーム
女子 41チーム

2. 4月の春季大会、兼、インターハイ予選の上位の、中央大会シード4チームを除くチームで、南北ブロック大会を開催

・北ブロック大会(寝屋川参加)
2015年度 参加校 男子 30チーム
女子 22チーム

3. ブロック大会は4月の春季大会、兼、インターハイ予選の上位の、北ブロック大会シード4チームを除くチーム、3チームずつでブロック・リーグ戦を行い、勝ちチーム1チームはブロック・トーナメントに進出

4. ブロック・リーグ戦勝ちチームで、ブロック・トーナメント戦を行い、4チームを選出

ブロック・リーグ戦を勝ち抜いたチームと、ブロックシード4チームで、トーナメント戦を行い、ブロック1~4位の順位を決定し、中央大会に出場

5. 中央大会は、まず南北ブロック選出4チーム同士で対戦し、勝利4チームは中央大会シード4チームと対戦し、勝利4チームのリーグ戦方式で1~4位順位決定

- ・1月開催の近畿新人大会、兼、全国選抜予選大会に、大阪より男女2チーム出場
- ・3月開催の、全国選抜大会に、近畿より男女6チーム出場

(4) 春季総合体育大会、兼、インターハイ予選

1. 4~6月

・2016年度 参加校 男子 66チーム
女子 42チーム

2. 10~11月の新人大会、兼、全国選抜予選大会の上位の、中央大会シード4チームを除くチームで、南北ブロック大会を開催

・北ブロック大会(寝屋川参加)
2015年度 参加校 男子 30チーム
女子 22チーム

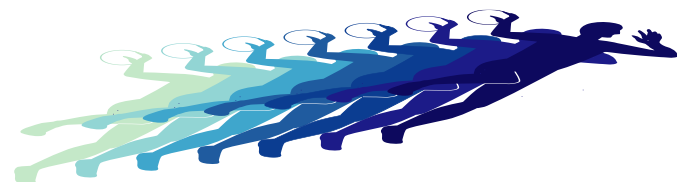
3. ブロック大会は10~11月の新人大会、兼、全国選抜予選大会の上位の、北ブロックシード4チームを除くチーム、3チームずつでブロック・リーグ戦を行い、勝ちチーム1チームはブロック・トーナメントに進出

4. ブロック・リーグ戦勝ちチームで、ブロック・トーナメント戦を行い、4チームを選出
ブロック・リーグ戦を勝ち抜いたチームと、ブロックシード4チームで、トーナメント戦を行い、ブロック1~4位の順位を決定し、中央大会に出場

5. 中央大会は、まず南北ブロック選出4チーム同士で対戦し、勝利4チームは中央大会シード4チームと対戦し、勝利4チームがトーナメント方式で、順位決定

- ・7月開催の近畿大会に、大阪より男女5チーム出場
- ・8月開催のインターハイに、大阪より男女1チーム出場

- ・試合時間、男女とも、25分-10分-25分
- ・詳細は、インターネット「大阪高体連ハンドボール専門部」のホームページを参照





2016年

正月ハンドボールの報告

今年の「新年ハンドボール」が、1月9日(土)、1月にしては暖かい、晴天の下、現役・OB・OG62名の参加のもと、母校寝屋川高校、グラウンド、セミナーハウスで、行われました。

正午からの親睦試合には、59期、66期のOB・OGが夫々、誘い合って参加してくださり、現役と楽しく、プレーすることが出来ました。

その後、第2部の新年会は、セミナーハウス3階にて、暖かい豚汁・おしるこを食べながら、恒例のビンゴゲームを行い、景品を受け取る時に、それぞれが出身校・今年の抱負等を発表していただき、和やかな雰囲気の中、楽しく終えることが出来ました。

今回、若手OB・OGの参加が増え、活気のあるものとなりました。

現役も、顧問の赤星先生・堀川先生の、熱心な指導の下、新年を迎え、目標に向かって頑張っています。

OB・OGの皆さん、現役達にOB・OGの往年のプレーを伝えるとともに、エールを送ってやって下さい。

8月の「盆サマーハンド」、多数の参加をお待ちしております。

2015年度・68期生

OB・OG会入会式

21期 菊地 和代

平成27年度、ハンドボール部の卒業生、男子11名・女子16名(マネージャー、女子5名含む)、計27名のOB・OG会入会式を、母校のセミナーハウスで、卒業式を明日に控えた2月26日(金)に行いました。

寺西会長(20期)より、お祝いのご挨拶、ハンドボール部OB・OG会の、活動目的・会則が説明された後、「認定書」「記念品」を授与致しました。

その後、OB・OG会の役員を交え、和やかな雰囲気での話し合いの中、今後のOB・OG会活動の協力者として、男女各3名を選出してもらいました。

卒業後、学生や社会人となり、それぞれの道に進んでも、寝屋川高校のハンドボール部で、共に汗を流した仲間や、頑張りを忘れず、O



B・OG会の活動を通じて、顧問の先生・先輩方・現役とも親睦を深め、共に、今後の寝屋川高校ハンドボールOB・OG会の益々の発展に、尽くしていくことを確認しあいました。

2016年 総会・盆サマーハンドボールの案内

現役男女が、元気です

OB・OGの多数の参加を、お待ちしております

現役の秋季大会(8月8~12日)や、学校行事の都合で、少し遅くなりますが、第24回総会、及び、盆サマーハンドボールを、下記の日程で行います。

夏休み中、猛暑のグラウンドで、現役は毎日、頑張っています。

ここ数年、若手OB・OGの参加も少し増え、親睦試合も出来るようになってきましたが、まだまだ、メンバー不足です。

卒業後、日々活躍されている先輩達の姿を、是非、現役達に見せ、エールを送ってやって下さい。

現役への応援・支援をこめ、より多くの皆様の、参加をお待ちしております。

日 時	平成28年 8月20日(土)	
総 会	13:00 ~	セミナーハウス3階会議室
親睦試合	14:00 ~	ハンドボールコート
懇 親 会	16:00~17:00	セミナーハウス3階会議室
2 次 会	17:30 ~	がんこ寿司寝屋川店
参 加 費	1,000 円	

<雨天の場合>

総 会	13:00 ~	セミナーハウス3階会議室
懇 親 会	14:00~15:00	セミナーハウス3階会議室
2 次 会	15:30 ~	がんこ寿司寝屋川店

会計よりの、御礼とお願い

23期 井上 武久

会員の皆様には、平素より本会の運営に、ご理解とご協力いただきますとともに、次掲の皆様には、平成27年度(2015.7~2016.6月)会費を納入していただき、厚く御礼申し上げます。

現在、本会は、会員が増加しているにもかかわらず、会費収入が伸び悩み、会報発送等の費用増加のため、財政状況は、非常に厳しい状態となっております。

今後とも、本会の存続、発展、並びに、円滑な運営を行うため、平成28年度(2016.7~2017.6月)の年会費の払い込みにつきまして、会員各位のご協力を、よろしくお願いいたします。



払い込みには、同封の郵便振替払込書、又は、銀行振込みをお願いいたします。

・郵便局利用

口座番号 01100-6-73829

加入者名 寝屋川クラブ

(注)金額欄には「¥」を、書かないで下さい。

この振込用紙には、通信欄もありますので、会の運営に対しての、ご意見や、近況報告など、ご自由にご利用下さい。

・銀行振込利用

振込銀行 三井住友銀行 川西支店

口座番号 普通預金 1011226

口座名義 寝屋川クラブ 井上武久(イノウエ タケヒサ)

※年会費：社会人 5,000円

平成27年度(2015.7~2016.6月)会費納入者

2016.6.30 現在

3期	大槻明子	睦月欣子	村田芳子	梅垣修三	中嶋直彦
5期	中東義治	樋上重夫			
6期	望月滋乃				
7期	金馬桂子				
9期	長澤邦子				
12期	尾亀敬子	小谷吏佐子			
13期	土井利勝	平井謙二			
15期	木元計司				
16期	大西武三	木野実	新堂達夫	多賀谷博康	
17期	中田順子	川口宗一郎			
18期	木村圭子	谷村千津子	津熊美智子	木村慶次	
19期	吉田裕紀				
20期	仲尾由紀子	井川隆三	香西安勝	竹野敬司	寺西啓三





寝屋川クラブ会報

- 21期 梅垣三七子 菊池和代 山本晶子 今堀太逸 内田一男
松尾信一郎
- 22期 小森園多恵子 古本まみ
- 23期 井上武久 葛木啓之
- 24期 小合省三
- 25期 竹内貴洋子
- 26期 地原繁信
- 27期 渡部安晴
- 29期 甫田裕佳理 興井隆
- 31期 田中裕一 大森孝志
- 33期 大塚万里子
- 34期 荒木克洋
- 39期 坂本正成
- 41期 安田郁
- 43期 小林恭子
- 44期 安井由佳 谷和哉
- 52期 小林加奈子 大森裕介
- 57期 大森耕介
- 59期 北崎千咲子 古賀景子 泊智佳子 岩井安寿香
- 67期 木下裕香



会員だより

近況報告に代えて

新堂達夫（16期）

「寝屋川クラブ会報」の前号（2015年12月号）で、小合省三さん（24期）に、「第11回ウエルネス・ハンドボールフェスタ」実施報告を、投稿していただいています。

その中では、大会運営の改善点などを中心に、報告していただいています。

私は、この「ハンドボールフェスタ」に関して、補足的な報告を、させていただきます。

毎年、大会後に発行している「記念誌」には、チームの指導者・保護者たちの声も、掲載していますので、そのいくつかを紹介させていただきます。と思います。

「ハンドボールフェスタは、夏の全国小学校大会と、近畿大会が終わり、子どもたちも、身体的にも、精神的にも、また、技術的にも成長し、それらの成果を計る上で、勝利という結果だけでなく、他のチームとの交流や、練習で意図してきたことを、発揮できるかを確認できる、素晴らしい大会であると、思います。

「子どもたちは、この時期に、選手同士で話したり、確認しあったりして、コーチに指示されたことだけでなく、自分たちで改善できる能力を、身に付けてほしいと考えています。」（大浜キッズ、監督・柴田和典）

「スタッフの皆様の中には、ハンドボールに関わりを、持っておられない方々もおられるにも、拘わらず、選手や保護者に、一生懸命対応され、心温まる大会の一つだと、感じます。

今後も、小さなハンドボーラー達の、夢の実現への手助けとなる大会としての、継続を望みます。」（キタイスポーツクラブ、コーチ・森 覚）

「今年は2チーム参加させていただき、大会関係者、及び、スタッフの皆様には、大変お世話になり、ありがとうございました。

チーム運営は勿論、大会運営に毎年苦勞する、立場を同じくする者として、皆様の労には、頭が下がる思いです。

なかなか思うような成績を、残すことができませんが、試合後の、子どもたちの清々しい表情を見ると、“今年も、参加して、良かった”と、心から思っています。」（池田ウィンズ、竹邊啓二）

「ハンドボールフェスタに、参加させていただくことで、日々の練習では、得ることの出来ない事を、試合を通して、子どもたちは

学んでくれて、子どもたちが、大きく成長していることを、嬉しく思っています。

又、コーチの方々には、毎週子どもたちに、熱く心ある指導をしていただき、保護者一同、感謝の気持ちで、一杯です。

本当に、ありがとうございます。

これからも、子どもたちの育ちの場である、ハンドボールフェスタが、開催されることを、願っています。」（安堵の里ハンドボールクラブ、保護者）

<会員通信>

リレー伝言板

17期 中田 順子

17期生の、中田順子と申します。

今年、古稀(70歳)です。

ハンドボールとのかかわりは、高校1年生、何年前に、なるのでしょうか？

入部のきっかけは、姉（9期生、現姓、太田敦子、旧姓、中田）の、華々しいハンドボール生活に、ちょっぴり、憧れていたこと。

又、1年生の時の担任が、ハンドボール部顧問の、中出先生（3代目顧問）になったことで、当然薦められ、正直、迷いはありましたが、入部しました。

私の人生、ハンドボール部に入ったことによって、道が出来たように、思います。

たいして、上手ではなかったのに、北村怜子先輩(15期生)がおられたのと、東京に憧れていたこともあり、同期の木谷佳子（旧姓、川口）さんと共に、日体大に進学。

そして、卒業後、保健体育の教師になりました。

教師時代の、ハンドボールとのかかわりは、OB・OG会に出席した時に、プレーするぐらいで、ほとんど、なかったように思います。

ところが、嬉しいことに、4年前になるのでしょうか？、孫3人（小学6・4・2年生）が、次々とハンドボール教室に、参加するようになりました。

楽しいらしいです。

娘婿も、学生時代はテニス部でしたが、ハンドボールは、面白く、楽しいと言っています。

訃報連絡

① 高校3期 中井 岩男（2015年12月1日逝去）

会報では故人の方を偲ぶ、現役時代の活躍の様子・エピソード、卒業後の模様、人柄が偲ばれる思い出話し等を、募っています。

次回発行の会報で、掲載させていただきます。

送り先は、今回の会報に同封の別紙「会員だより」を、お送りいただくか、下記メールアドレスにお寄せください。

枚方市星丘4-12-8 寺西 啓三

TEL：090-5887-8777 FAX：072-849-7237

メールアドレス：kkteranishi@yahoo.co.jp





寝屋川クラブ会報

練習に、娘婿がついて行けない時は、私がついていきます。

この年になって、ハンドボールをするなんて・・・。

小学生相手に、練習に、参加させてもらう時も、あるのですよ。

寝屋川高校での練習の時は、本当に懐かしく、私たちが練習していた時の、コートではありませんが、当時を、思い出したりします。

いろんなことがありましたが、今ではすべて、いい思い出です。

孫たちの試合は、必ず、応援に行きます。

子供達のハンドボールは、見ていて、イライラしたりもしますが、やはり、楽しくて、面白いです。

昨年の10月だったと、記憶しているのですが、寝屋川市立体育館で、試合がありました。

行って見て、驚いたのですが、その大会は、ウェルネス・ハンドボールフェスタだったのです。

大会会長の、新堂達夫さん(16期生)始め、加堂政則さん(14期生)、谷村千津子さん(18期生、旧姓・中野)、平井晴美さん(19期生、旧姓・戸井)、そして、小野千秋さん(29期生、旧姓・小林)等、ハンドボール部の先輩、後輩の方々がたくさん、かかわっておられ、お目にかかり、色々お話をし、まったく、知らなかった私が、恥ずかしくなりました。

協力して下さっている、OB・OGの方々に、感謝・感謝です。

3年前に、主人に先立たれ、今は1人ですが、近くに住んでいる、孫たちの世話と、スポーツジム通いで、おかげさまで、元気に充実した日々を、過ごしています。

残りの人生、孫たち(4人)の成長を楽しみに、心も身体も、健康に過ごしたいと、思っています。

OB・OG会を、運営して下さいの役員の皆様には、感謝しています。

これからも、益々の発展を、願っております。



26期 地原 繁信

私が、ハンドボール部に入部した、本当の理由

今回、原稿依頼を受け、一生懸命に、懐かしい思い出を、振り返りました。

まず、ハンドボールの「ハ」の字も知らない私が、なぜ寝屋高で一番練習のきつい、ハンドボール部に入ったかという、亡き「望月先生」(4代目顧問)に、嵌(は)められました。

入学して間もなく、クラスメート何人かと、新しいクラブ、又は、同好会(バトミントン)を、作ろうと話し合い、まずは、基礎体力作りと、放課後に、グラウンドの端を、ランニングしていました。

そして、ある日の体育授業が終わった時、確か、延命君(26期)と私に、「今日の放課後、体育教官室に、来るように」と、望月先生に言われました。

その時は、何か悪いことをしたのか、又は、バトミントン部を作ることに、力を貸して頂けるのかと、不安・恐怖と希望の入り混じった、複雑な思いで、行きました。

部屋に入るなり、第一声、「お前ら、ハンドボール部に入れ!!」でした。

以下は、その時の、私が覚えている、望月先生の言葉です。

①「新しいクラブ、まして、同好会は、わが校では、認められない」

私たちは、バトミントン部を作りたいのにと、断りましたが、即座に言われました。

なぜ、新しいクラブ(同好会)を、作ることができなかったのか、事実か不明?

②「すぐに、試合に、出してやる」

事実、1ヵ月足らずで、試合のコートに、立っていました。

ただし、サイドを、行ったり来たり、してただけでしたが・・・

③「練習も楽だし、手でボールを扱うので、誰でもすぐ出来る」

皆さんも、お分かりと思いますが、半分以上、騙されました!!

④「今日、入部届けにサインしないと、帰られんぞ」

多分、望月先生は、本気!!、私たちは、恐怖!! 思わず、サインしてしまいました。

結局、バトミントン部は、作れず、一緒に走っていたメンバーには、怒られました!

以上のような経緯で、私はハンドボール部に、入部しました。

その他、いろいろ思い出していきますと、「合宿時の、グラウンドを使った、シュートノック」、「試合・練習中の、喉の渇き」(当時、水分補給は、バテルので、NG。うがいと偽り、多少は飲んでいましたが)、「突き指・打撲・擦り傷は、日常茶飯事」(今も、右手薬指の、第一関節は、少し内側に、曲がっています)などなど、辛く苦しかった、思い出ほど、よく覚えています。

そして、なぜか、試合中に食べた、マネージャーが作ってくれた、蜂蜜(砂糖)漬けの、レモンの味が、甦ってきました。

唯一の、甘く・酸っぱい、思い出(青春の・・・)?

それから45年、昨年に、勤めあげた会社を、定年退社しましたが、その間、幾度となく、辞めようと思った事がありました。

しかし、「ここで辞めたら、私の負け」と、思い直し、歯を食いしばり、頑張り通せたのは、寝屋高での、ハンドボール部に入っていたおかげだと、思っています。

望月先生を、色々と腐しましたが、人生の恩人と、思っています。感謝と共に、先生のご冥福を、お祈り申し上げます。

同時に、寝屋高のハンドボール部が、今後、ますます発展し、活躍されることを、願っています。



37期 廣澤 敦子(旧姓、黒石)

私は、選手ではなく、マネージャー。

しかも、最後まで勤め上げず、途中退部。

突然の原稿依頼に、書かせていただいてもいいのかしらと、戸惑いつつ、それでも、こんなヤツがいてもいいじゃないかと、開き直り、書かせていただくことに、しました。

なぜ、スポーツには、とことん縁がないはずの私が、ハンドボールのマネージャーを引き受けたのか、遠い記憶をたどることから、始めてみます。

学園祭での、ブラスバンド部の演奏に憧れて、寝屋高を目指しました。

ここだけの話、丙午の学年でしたので、ラクに入学しましたが・・・。(笑)

晴れて入学し、いさんでブラスバンド部の見学に行ったら、厳しそうで、あっさり尻尾を巻いて逃げ帰り、弱小の、コーラス部に入部。

練習もゆるく、活動は、週3回。

そのまま、ゆるゆるコーラスライフを送るはずだった私に、同じクラスの友人が、ハンド部のマネージャーを、一緒にやってほしいと、声をかけてきました。

暇そうに、見えたんでしょうね。

コーラス部と、掛け持ちできるから、一緒にやろうよ〜と、軽い気持ちで、引き受けました。

ところが、私が入ったすぐあと、その友人は、さっさと、やめてしまったのです。

やめそこなってしまった、私。

それでも、やめようと思えば、やめることはできたのに、続けることにしたのは、1年上の先輩マネージャーが、素敵な人で、大好きだったから。



寝屋川クラブ会報

また、自分には縁のないスポーツに、このような形でも、関わることが楽しかったから、だったのでしょね。

お茶を、早く冷ます方法を、他部のマネージャーと、情報交換したこと、お茶を冷ます、水道場から、毎日のように、夕陽の定点観測をして、季節の移り変わりを、感じたこと、米原での合宿で、朝から晩まで、洗濯物まみれになっていたこと、月刊ハンドボール？とかいう雑誌に、載せてもらったこと・・・、この原稿を、書かせていただくことで、思い出が鮮明に、蘇ってきました。

面白いものですね。

高校2年の秋に、声楽を専門に勉強したいという、目標ができ、受験準備のレッスンのために、マネージャーは、やめざるを得なくなりました。

3年生の引退まで、続けることができなかつたのは、残念でした。それから、はや30年。

現在は、声楽家として、コンサートやオペラ、合唱指揮、後進の指導にと、走り回る日々です。

リサイタルには、北岡先生（5代目顧問）が、いつも、応援に来てくださって、終演後、いつも、「あっちゃん！よかった！」と、声をかけてくださいます。

高校生の顔に、戻ってしまう、一瞬です。

コーラス部自体は、残念ながら、もう廃部となったのですが、コーラス部のOBが、母体になった、寝屋川高校同窓生、音楽愛好家の会「楽友会」の活動で、母校とは、繋がりを、もたせていただいています。

実は、寝屋川高校は、昔から、音楽の道に進む人が多く、多くのプロ演奏家を、輩出しているのを、ご存知でしたか？

楽友会では、毎年演奏会を、開催しており、プログラム最後には、舞台・客席一体となって、「真善美」の大合唱をするのが、恒例なのです。

今年は、10月2日（日）13時より、寝屋川市駅と寝屋高の間にある、「アルカスホール」で、開催します。

ぜひ、お越しくださいね。

声楽家、などというと、優雅で、華やかな仕事だと、思われがちですが、実際には、体力と根性が、勝負。

体育会系だなど、言われるたびに、ハンド部マネ時代を、チラリと思い出しては、ニヤリとするのです。

次の寄稿者を指名、ということですが、1年先輩の、男子部の南田哲先輩、かけ声が独特で、今も耳に残っています。

そして、英語が話せて憧れだった、同級生の、女子部の黒田亜由美さんに、お願いしたいと思います。

66期 古川 七海

こんにちは、66期生の、古川七海です。

私が、寝屋川高校に入学し、どの部活に入部しようかと、考えていたときに、赤星先生（7代目、顧問）に誘っていただき、ハンドボールというスポーツに、出会いました。

ハンドボールとは、どのようなスポーツなのか、試合を見たことも、ルールも、全く知りませんでした。

寝屋川高校は、みんなが初心者であり、自分が努力すれば、その分だけ、自分の力になるので、面白いと思います。

どうしたら、上手くプレーができるのか、研究したり、授業中も、考えたりして、それが上手くできたときは、すごく嬉しいと、思っていました。

入部してからは、ハンドボールが楽しく、仲間にも恵まれ、すごく、熱中していました。

部活でも、部活外での高校生活でも、みんなと、多くの時間を過ごし、さまざまな思い出が、あります。

卒業してから、2年が経ちましたが、当時のことを、みんなと話していると、面白い思い出ばかりで、いつも話が弾みます。

私にとって、部活が、高校生活の、一番の思い出になっていますが、入部してから、引退するまでの、約2年半、先生が掲げてくれていた、「近畿大会出場」という、明確な目標があったからこそ、日々の練習を、頑張ることができたのだと思います。

赤星先生の指導は、それまで、ハンドボール経験がなかった、私たちを、経験者がいるチームと、十分に戦えるチームに、作って下さります。

また、先輩方から、毎年、中央大会に出場していて、近畿大会というものは、実力的にも不可能でなく、寝屋川高校は、手の届くところにありました。

先輩たちの分まで、赤星先生のためにも、私たちは、必ず近畿大会に行く！という、強い気持ちを、持っていました。

チームスポーツであるからこそ、仲間と想いを共有しあい、試合で勝つ喜び、負ける悔しさを、感じました。

特に、試合で勝つ喜びは、格別なもので、今でもたまに、あのときに戻りたいなど、思います。

結果として、近畿大会への出場が、叶わず、今でも、何か、もっと頑張っていたらと言う、悔しさを、思い出すこともありますが、ハンドボール部に入り、赤星先生の元で、みんなと、一つの目標に向かって、ハンドボールができたことに、すごく感謝しています。

また、学校内のグラウンドだけでなく、市民体育館を借りて、練習・試合をすることもたくさんありました。

このような、恵まれた環境で、部活動が行えるのも、先生方やOB・OGの方々をはじめとする、多くの方々のおかげだと思います。

私は、今では、そちらの立場なので、微力ではありますが、何かサポートをしていけたらと思います。

現在は、私は大学3回生で、学校に、課題や、部活、バイトと、慌ただしい日々を送っていますが、また、同期、先輩・後輩のみんなと、寝屋川高校でハンドボールをして楽しみたいなど、思っています。

それでは、次回のリレー伝言板ですが、同期でキャプテンでした花光真紀か、1つ下の後輩の木山知郁に、お願いしたいと思います。

① 「会員通信・リレー伝言板」では、会員の皆さんを、大体10年単位8グループに分けて、皆様に現役の時の思い出、ハンドボールとのかかわり、近況等を、自由に綴っていただき、同期、先輩、そして後輩へリレー形式でつないでもらって、会員の皆さんに紹介をし、親睦の輪を広めたいと思っています。

② 本文では、今回の寄稿者の方には、次回の寄稿者の指名を行っていただいています。

次回指名された方には、次回会報発行時に、OB・OG会役員より、寄稿のお願い・要領等の連絡をさせていただきますので、その節には、ご協力の程、よろしくお願ひします。

② OB・OG会会員の皆様、今回掲載されました内容について、感想、コメント等、あなたのメッセージを、事務局へ、別紙「会員だより」、FAX072-849-7237、又は、[メール](mailto:kkteranishi@yahoo.co.jp) kkteranishi@yahoo.co.jpで、お寄せください。

< 編集後記 >

① 待ち遠しかったオリンピックが、8月5日（金）～21日（土）、地球の裏側の、ブラジル・リオで開かれます。

日本でも代表選手が決まり、徐々にムードが高まっています。暑い夏、睡眠不足に注意しながら、観戦・応援しましょう。

② 昨年、インターハイ杯・ハンドホール競技が、大阪堺市で開催されました。

パソコンのYouTube（ユーチューブ）では、無料でハンドホールを初め、多くの競技が放送され、見れました。

今年も、放送されると思いますので、オリンピック共々、楽しみましょう。

